

# 管理問題

教室内の自主管理化を早急に

こ

は、四年生を中心にして図書室の使用方

法

は学生の自主管理のものと使用する方針を打ち出しました。この図書室の問題に際しては、当初教室毎に競争する方針であったが、日本史、西洋史なりに於いて教室側から我々の要求が拒否されたという事態が生じた。そこで、学年委員会で協議し、更に管理局、図書室を中心に討議した結果、早急に教室図書室の自主管理化をめざして断固たる行動をとり、各教室図書室の鍵を我々の管理下に置くことに成功した。

代表責任者は管理局との連絡を必ずとつて欲しい。鍵は原則的には管理局が保管するが、直接図書室の管理は各クラス図書委員が担当することである。各クラスの責任体制が明確化されない限り、管理局では図書室の使用を認めない方針である。

## E 鍵の使用は管理局に届け出を！

「E」鍵をクラス討論などに使用する場合には、本部、他学部とのスケジュール調整のためその他面上の必要な場合は管理局に届け出を欲しい。(ただし計画室のみ)原則として届け出ない場合には使用を許可しません。又、確実に教室五曜課したい場合には、前日までに届け出下さい。そして、使用後は戸締り(窓)を確

認し、簡単に落録すること。(届け出は文自若) お手軽とは、これがある。

会室に連絡することとするが、責任者のいない。大學生は廊下前での見面によってタダのままで利用

こ

は、黒板の網紙に記入すること)

リインク

## 討論会

よ

理講義をお預かり止らう」の内文を顕化すべく、討論費の発行運営自主面を等

一括教育への専門別コースの導入等から、直近に

より「マスター一方ラン中間報告に対する批判」と要請者氏の弁護にむづくつ

大學自然における学生の役割」の二つのシンポジウムを通して、眞剣にやさる論議の深化と説明の西側判断を追求してきました。

これは、主張する西側論にむづく眞剣な対応と、併

て、自外の状に限らず多くの要求と離れて、それ以外の一つの二つに對して眞剣である「西側」の形成がはかられる。

これら三つの反対視角を想起する形態上、来る

。それは、主張する西側論にむづく眞剣な対応と、併

て、自外の状に限らず多くの要求と離れて、それ以外の一つの二つに對して眞剣である「西側」の形成がはかられる。

## 刀山

第三回

金

の

クラス討論

自由

主

の

問題

主

</div